

ことし水無月半、ひさしくみやつかへ奉る老君、かりそめのやうになやませ給ふ、
晝夜殊更かたはらをはなれ奉らず、何くれとうかゞひまゐらせし折から、何とな
き御口號のやうに、

短夜やわれには長きゆめさめぬ

とかく聞えさせたまふ、さしてかはる御ありさまとも見え給はねど、御齡高くお
はしませば、いかゞぞやと胸とゞろきて、急ぎ上なる館へも啓しわたり、近き醫師
の許へ人走らせなど立さはぐ、ほどなく御親しき限は馳あつまらせ給ひ、終夜あ
つかひおはします、夏の夜の明やすきに、さのみ御なやみもなくて、巳の刻ばかり
に終らせ給ふ、

こえて十九日、その在所なる藤瀬の西音精舎に葬る、又かねて文樵らが翁の六十八
の時、翁にこうて知雨亭よりほど遠からぬ長榮精舎に蘿塚をたておさし縁により、
こゝに俳士八十餘人集ひ來りて、六七日の追福の爲に、百韻興行を催し、といふ、
翁の著書は、蘿窓集和歌、蘿隱集詩、行々子狂歌、鴉衣俳文、前後綴合、蘿葉集、蟻塚、蘿の落葉、も
り桶、千句集、五百句集俳諧などの外に、小皮籠、野夫談、みなむすび、峨洋篇、管見草、短經
錄、永代藏、白話傳難陳、無夜食談の類あり、されども今は世に傳らざるもの多し、この

中ことに鴉衣は、蜀山人が借物の辨をよみて、いたく翁の文才に感じ、出版したるも
のにて世にひろく傳播したる書なり。

藤瀬横井家系圖

○時行相模次郎

元弘亂、諏訪右馬助保、襲之、而隱於信州、建武二年亥七月起、兵信濃、而侵鎌倉、四年丑八月、後醍醐天皇勅免其罪、
與新田義興同攻鎌倉、後又降尊氏、住伊豆國。

時滿平太郎

時行密通、尾州熱田大宮司之女、生時滿、時滿同母流、落民間、姓名住、尾州海東郡壺江郷、或云晦跡於知多郡
中、後人呼號、北條村ニ云々。

時任平五郎

時滿五男、時任、居于尾州愛知郡横江村。

時利源五郎

住居于同郷、避天下、此兩代稱横江殿、横江村今改謂横井村。

時永源五郎

白立領、海四郡海東郡、始改稱横井築、赤目城、以居焉。

時勝

横井丹後守、居于赤目城、通信於將軍家、始叙從五位下、任丹後守。

横井也 有

時延 雅樂助

國信長幕下 屢有軍功 代々居赤目城 天正七年卯五月二十五日丹州榎井合戰戰死

時泰 伊織助

補 尾張橫井宗家 俗謂赤目橫井

時雄 孫十郎

弱冠勢州長島合戰戰死之有二子 季仕于紀陽侯

某長 左衛門 治大夫

奉仕于神君 後奉仕于紀州大納言光貞卿 爲御鷹匠頭 預同心 賜三百石

時朝 孫太郎

孫右衛門 補 藤瀬橫井祖 仕信長 數有軍功 後奉仕于神君 賜千二百八石九斗三升 關原役有軍功 住尾州海西郡藤瀬 慶長八年卯四月二十四日卒 享年五十九

時久 作左衛門

補 祖父江橫井祖 奉仕于神君 賜千九百石 慶長五年關原役得首級爲敵被砍破其背 神君大褒賞之 二十九年奉仕於公 大阪役從軍 凱旋之後爲御鷹砲頭 後爲軍鷹匠頭 寬永二十年十一月二十九日卒 享年七十四 尾州下祖父江村建廟 碑創一寺 號一弓山永張寺

時孝 源太郎 孫右衛門

奉仕于神君 關原大阪等役 奉後嗣 敬公 繼父家領 爲寄合 寬永十五年寅五月二十日卒 補 享年五十九

時元 平人 九十郎

市左衛門 孫右衛門 補 父家領 爲寄合 明曆三年酉爲御船奉行 寬文三年卯正月十七日卒 藤瀬橫井系譜 寬文二寅年正月十七日 慶享年五十五

時英 九十郎

市郎左衛門 孫右衛門 爲寄合 元祿六年酉八月朔日 繼父家領 賜千石 爲寄合 貞享元年子六月六日 爲御用人 二年丑五月二十八日 依病辭職 藤瀬橫井系譜 享保元年申八月四日 慶享年八十

時衡 辰之丞 孫右衛門

元祿六年酉八月朔日 繼父家領 爲寄合 十三年辰十月四日 爲御用人 寶永四年亥四月二日 爲大番頭 享保十二年未六月二十五日 致仕 十四年酉十二月十三日卒 補 享年五十四

時般 辰之丞

市郎平 孫右衛門 字伯慶 號也有一 享保十二年未六月二十五日 繼父家領 爲寄合 十五年戌正月九日 爲御用人 寬保元年酉四月十三日 爲大番頭 兼御用人 三年亥二月二十八日 加倍二百石 補 天明三年卯六月十六日 慶享年八十二 法號並明院 朝雲暮水 大禪定門 以上士林 泚泗

番時 初時美 友吉 孫右衛門

加增三百石 天明七年未九月十六日 慶享年五十六

時憲 孫右衛門

文政二年卯二月十六日 慶享年六十二

時成 孫右衛門

文政三年辰三月四日 慶享年三十六

橫井也右

時習 孫右衛門
安政五年午三月二十日歿享年五十三

時足 孫右衛門
慶應四年辰正月二十五日歿享年三十七

時棟 時足男 後別戶

時儀 時習三男 明治元年家督

時能

時允

芸窓襍載終

明治三十七年三月二十五日印刷
明治三十七年三月二十八日發行

定價金壹圓貳拾錢

著者

橫井時冬
東京市牛込區東五軒町十一番地

發行者

三樹一平
東京市神田區錦町一丁目十番地

印刷者

石川金太郎
東京市京橋區西紺屋町廿六七番地

印刷所

株式會社 秀英舍
東京市京橋區西紺屋町廿六七番地



發行所

東京市神田區錦町一丁目
(特電話本局二四三八番)

明治書院

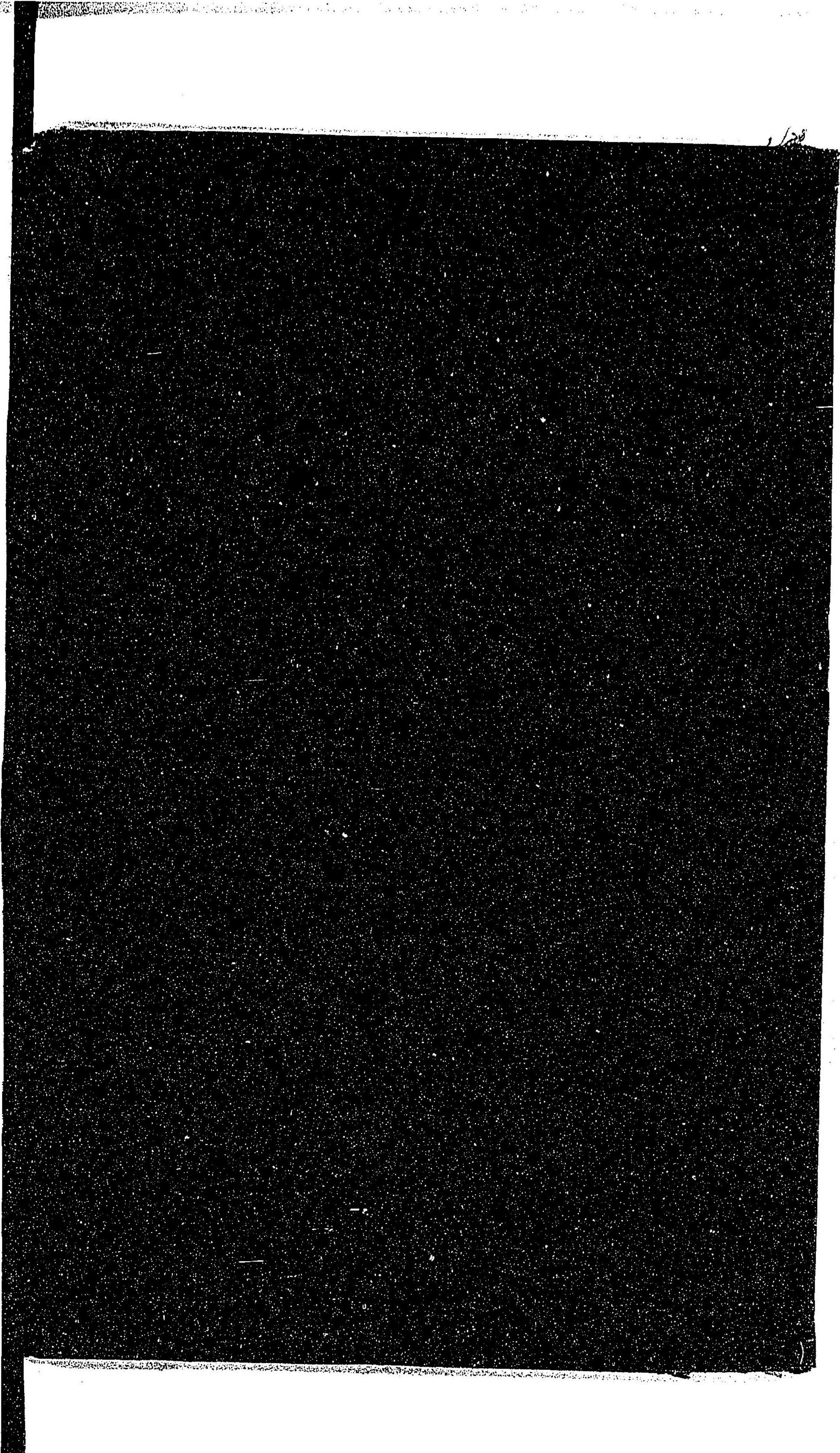
關西大賣捌所

大阪市東區備後町四丁目
(特電話東四三番)

吉岡平助

8.9.5.

45
734



45
334

102052-000-1

45-334

芸窓襍載

横井 時冬 / 著

M37

EAF-0012



